

災害医療センター呼吸器内科にて喘息で通院されていた患者さんへ

当院では臨床研究『喘息患者における外耳道刺激による咳嗽誘発についての検討』を行っております。

外耳道の刺激により咳が誘発される現象はアーノルド神経反射として知られており、喘息患者さんにおいて、その頻度が高いといわれています。一方、耳が痒くなるとともに咳が出てくることも経験されます。このように耳が関与する咳があることはわかっていますが、その実態はいまだによくわかっておらず、これを解明することが研究の目的です。

対象となる方は2022年6月から2023年5月の間に当院において喘息で通院されていた方です。研究期間は承認日から2025年3月までです。研究の方法としては、これまでの診療でカルテに記録されている診療情報を収集して行うものであり、特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。集める情報は、

- (1) 耳掃除で咳が出るか
- (2) 耳のかゆみとかゆみに伴う咳の悪化があるか
- (3) アレルギー性鼻炎で耳も痒くなるか

(4)上記の(1)~(3)に関連があるか？

(5)ステロイドの点耳薬で症状が改善するか

です。

この研究は、国立病院機構災害医療センターの倫理委員会の承認を受け、国立病院機構災害医療センター院長の許可を受けて実施するものです。研究結果は学会発表や学術論文としては公表されますが、個人情報は保護されます。

データを使用してほしくない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡くださればデータは使用いたしません。研究に参加いただけない場合でも、将来にわたって不利益が生じることはありません。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものといたします。この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023年 10月

**【問い合わせ先】**

研究責任者：上村光弘

〒190-0014 東京都立川市緑町 3256

国立病院機構災害医療センター呼吸器内科

電話：042-526-5511（月～金：9AM～17PM）